

令和4年度 滝上小学校 学校評価 まとめ

2023. 3. 24

1 児童アンケート結果（年間）

前期・後期の評価を比較し、考察を掲載しました。

No	質問項目	平均（最高4.0）		考察
		前期	後期	
1	毎日学校に行くことが楽しい	3.4	→ 3.4	AとBで89%であった。おおむね楽しいと思っているようであるが、CとDが8人いる。この児童に目を向けて対応する必要がある。
2	いつも自分から進んで、気持ちの良い「あいさつ」をしている	3.3	→ 3.3	自分から、進んで、相手に聞こえる声であいさつできる習慣をつけていきたい。
3	いつも友達に優しく親切にしている	3.4	→ 3.4	友達に対して親切な児童が多い。よい行いについては即座にその場で褒めるとともに、学級でも紹介したり職員間で共有したりしたい。
4	掃除、係、委員会など、みんなと協力して取り組んでいる	3.6	→ 3.6	縦割り清掃や係活動は、大変真面目に取り組んでいる。委員会活動は、マンネリ化を防ぎ、子どもの発想を生かした新たな取組を推進する。
5	勉強がよく分かる	3.2	↗ 3.3	全児童に「分かる」と回答してもらえうように、さらなる授業改善が必要である。
6	朝読書以外でも、学校や家で読書をしている	2.9	↘ 2.8	今年度から月・水・金の朝10分間、読書をしている。全児童が読書に集中できるようになった。
7	家でiPad(アイパッド)のルールを守っている(学習以外に使わない・目を休めるなど)	3.8	↘ 3.7	iPadの使い方、ルールについて、適宜指導していくことが必要。
8	毎日、家庭学習をしている(1年20分、2年30分、3年40分、4年50分、5年60分、6年70分)	3.2	→ 3.2	ノートづくりは全体的に上達してきた。今後は学習の質や量も意識させたい。
9	学校や家(地域少年団など)で元気に遊んだり運動したりしている	3.4	↘ 3.3	冬場、裏庭で遊ぶ児童はいるが、わずかである。雪中サッカー、雪合戦など、冬場における外遊びの環境があるとよい。
10	家のご飯や給食で、好き嫌いしないで食べている	3.2	↗ 3.3	給食中、毎月の給食目標を意識づけさせたり、献立表にある栄養価なども紹介したりしながら、食への意識を高めていきたい。
11	登下校や自転車に乗る時、交通安全に気をつけている	3.8	→ 3.8	冬場は、通学路の歩道の除雪など、安全に歩くことができるかどうか、常に確認が必要である。
12	家で、ゲームやインターネット使用の約束や時間を守っている	3.3	↗ 3.4	生活リズムチェックシートを活用し、1週間取り組んだ。次年度も、生活リズム改善のため取り組む予定である。
13	先生は、勉強が分からないとき、分かるように教えてくれる	3.8	→ 3.8	分からないことや出来なかった問題は、時間をかけても児童が納得できるまでじっくり指導することを職員一同確認していきたい。
14	先生は、自分の良いところやがんばっているところをほめてくれる	3.7	→ 3.7	全ての子どもによさ、努力、頑張りを見逃さないよう、職員間の連携・情報共有を密にしていきたい。
15	学校(教室)はきれいに整理せいとんされている	3.5	↘ 3.4	教室は、常に整理整頓されている状態にする。また、児童の作品・学習の成果は丁寧に掲示するとともに、掲示物など古いものは早めに撤去する。

2 保護者アンケート結果（年間）

前期・後期の評価を比較し、考察を掲載しました。

No	質問項目	平均（最高4.0）		考察
		前期	後期	
1	毎日学校に楽しく通っている	3.6	↘ 3.5	家庭で「学校が楽しくない」様子があれば、遠慮なく担任や学校と連携していただき、解決に向けて迅速に対応していきたい。
2	自分から進んで、気持ちの良いあいさつができる	2.9	↗ 3.0	児童会で「あいさつ運動」に取り組むなど、実効性のある取組を推進していきたい。
3	友達に優しく親切にすることができる	3.2	↗ 3.3	人に優しく親切な児童が多い。この校風を大切にしていきたい。
4	友達と協力することができる	3.2	↗ 3.3	縦割り清掃、係活動、委員会活動など、協力して仕事をするのがよくできている。
5	授業や学習内容をよく理解している	3.1	↗ 3.2	テストや学習プリントなどで、正答できなかったところは、納得できるまで個別に丁寧に教えていく。
6	家（図書館など）で、よく読書をしている	2.3	↘ 2.2	今年度、大きく読書環境を充実させることができた。メガネの会の「読み聞かせ」にも感謝。読書好きの子どもにしていきたい。
7	Ipadの使用ルールを守っている（学習以外に使わない・目を休めるなど）	3.6	→ 3.6	ルールは学校から配付しているが、定期的に見直しが必要と考えている。お気づきの点は担任、学校までお知らせしていただけるとありがたい。
8	毎日、家庭学習を学年×10分+10分している（宿題、自学ノート、市販教材など）	2.9	↗ 3.0	今後も、学習時間、学習場所の確保にご協力いただきたい。また、不十分であれば相談していただきたい。
9	家（地域少年団など）で元気に遊んだり運動したりしている	3.3	↘ 3.1	冬場は遊び場が少ない。学校としてできることはないか、職員で検討していきたい。
10	家で、好き嫌いをしないでご飯を食べている	3.1	↘ 3.0	朝食をとらない児童も時々いる。しっかり食べ、朝から元気に学習に取り組めるよう、家庭に呼びかけていきたい。
11	登下校や自転車に乗る時、交通安全に気をつけている	3.4	→ 3.4	冬場の通学路（歩道）の除雪が気になる。時々歩いてみたりしながら、確認をしていきたい。
12	家で、ゲームやインターネット使用の約束や時間を守っている	2.9	→ 2.9	子どもの納得のいくルール作りを通して自己抑制力、自律心、セルフコントロールの力を育むことが必要と考える。
13	学校（学級）は、学習が分かるように指導してくれている	3.4	↗ 3.6	校内研究授業をはじめ、交換授業、中学校の乗り入れ授業など、授業力向上の取組を今後も進めていく。
14	学校（学級）は、子どもの良さや頑張りを認め、褒めてくれている	3.5	↗ 3.6	これからも、子どもの良さを認め、褒め、たたえ合いながら自己肯定感を高めていきたい。
15	学校（学級）は、校舎内外の美化、整理整頓に努めている	3.3	↗ 3.6	特に教室は、常に整理整頓を行い、気持ちの良い環境で学習できるよう、職員一同心がけていく。

【指導について】

・宿題がなく、家庭学習だけで大丈夫かと思っていたが、毎日やる気をもって考えながら進めている。平日はゆっくり見てあげられないが、バリエーションが増えるように声掛けしている。引き続きアドバイスしていただきたい。

⇒ 一人一人に確かな学力を身につけさせるため、宿題と自学自習ノートの両方を基本として取り組んでいます。現在、各学年の自学自習ノートで良い取組のものをコピーし、他学年の教室や廊下に掲示する取組をしているところです。今後も子どもたちが意欲的に取り組めるよう指導していきます。

・一部の先生の言動により、子どもたちが傷ついている。改善してほしい。

⇒ 教師は一人一人の子ども的人格を尊重し、深い教育的愛情をもって接していくことが大切です。教師の言動により子どもが傷つくことがあってはなりません。どの子どもにも、かけがえのない一人の人格があり、無限の可能性を秘めている未来の宝物であることを肝に銘じ、改善してまいります。今後も気になる言動がございましたら、遠慮なく、すぐに担任や学校へお知らせください。

【教育環境について】

・iPadは、緊急事態宣言ではなくても持ち帰らなくてはだめなのか。ランドセルが重い。夏は暑い。ちょっとかわいそうだと思う。

⇒ 最近、重たいランドセルについての報道があります。教科書のサイズが大きく厚くなり、タブレット端末や水筒も入れると、以前より明らかに重たくなっています。「置き勉（教科書を学校に置いていくこと）」や、「端末の持ち帰り」について検討中です。

・校舎、教室が暑すぎる。エアコン導入の計画は伺っているが、できるだけ早く設置してほしい。

⇒ 近い将来のエアコン設置が検討されています。それまでの間は、冷風機や扇風機、熱中症対策グッズなどを活用し、暑さをしのいでいきたいと考えています。

【学校体制について】

・来年、複式学級になる可能性があるという聞き、学力の低下など子供たちへの影響が心配。次年度の体制・対策等を知りたい。

・来年度以降、もし複式で国・算を行うことがあれば、一人の先生では大変だと思うので、補助教員の配置を望む。先日、新聞で国・算の補助教員を始めた自治体の記事を見た。複式でなくても、習熟度に差があるクラスでも、授業の理解度が上がると思う。

⇒ 普通学級の児童数が、1年生をのぞく2つの学年合わせて16人以下になると、複式学級となります。本校では令和5年度当初、転入がなく現在の児童数で推移した場合、2学年合わせて16名の複式学級が1つできます。複式は、児童の主体性が育つなどのメリットもありますが、本校としては16名の複式学級はできるだけ回避したいと考えており、対策を検討しているところです。なお、濁川小学校と統合予定の令和6年度には、児童数が増えますので、全学年単式学級となる見込みです。

・来年は、統合に向けて、滝上と濁川の合同レクを行えたら良いと思う。

⇒ 現在、子どもや教員の交流を精力的に進めているところですが、両校の保護者の皆様を含めた交流はとても良いアイデアだと思います。ご意見ありがとうございます。

【その他】

- ・先生たち、忙しいと思うが最後の年なので、先生楽しかったなと思い出に残る接し方をしてくれたら子どもも私もうれしい。
- ・運動会、修学旅行といった大きな行事が多かった1学期は、とても楽しい思い出ができたよう。団結力のあるステキな学年なので、卒業までさらにステキな集団になってほしい。

⇒ 6年生は、小学校生活が残り半年となりました。小学校での習得事項を確実に身につけ、最高学年としての自信と誇りをもって卒業できるよう指導・支援・応援していきたいと思えます。

- ・学校だよりを拝見し、良い話だけでなく、様々な視点や事柄があり、考えさせられることが多い。最近では、“学校で嫌な思いをした（しているらしい）子がいる”の話で、予想より割合が多く（昔より増えていて）驚いた。すぐに忘れる程度ならいいが、日常に影響がないといいなと思う。大人も子どもも他者や異なる価値観を認め合い、気づかう心を大切に忘れないようにしていきたい。
- ・アンケートの結果を全て公表してほしい。

⇒ 滝小児童みんなが「多様性」や「差異」を理解できる子どもたちになってほしいと願っています。アンケートについては、公表は当然のこととして、結果分析後の改善・実践が大切です。これからも、より良い滝上小学校を目指して取り組んでまいります。ご意見大変にありがとうございました。

（後期）保護者アンケート結果（記述）※3.10 学校だより（増刊号）掲載済

【指導について】

- ・リモート授業は見てても分かりやすく、対応が素晴らしいと思う。全教科になるとなお良いと思う。
- ・休みが多い場合、ipadをもっと利用してリモート授業を行っても良いのではないかなと思う。
- ・リモート授業がスムーズに行かず不便に感じるので改善してほしい。
- ・リモート授業になると、できる授業、できない授業で差ができ、学習内容の理解が難しいという事がありました。Ipadで個々とメールでご対応してくれているのがすごくありがたいと思う。

⇒ 昨年、コロナがまん延しましたが、子どもが元気で、オンラインが実施可能な教科の時に、タブレットを活用し学習を進めることができました。不慣れな点は多々ありますが、全職員で研修を重ねながら、より良い方法を模索し、効果的な学びを推進していきたいと考えています。

- ・1年生の時はプリントで宿題をしていたが、2年生になり自学自習になってから本人何をしていたのか困り、絵ばかり描いている時期があった。大丈夫かなと不安になった事があった。
- ・慣れるまでプリントに加えて自学自習ノートをやってもらう事はできないのかなと思う。

⇒ 本校では、**家庭学習 = 宿題（学校で出された宿題） + 自学自習（自ら課題を見つけて行う学習）**としています。特に、自学自習のねらいは、①「毎日机に向かう習慣をつける」②「自分に必要な学習を自分で見つける力を養う」③「突然の臨休時に自ら進んで学習を進められるようにする。」です。

学力の確実な定着、意欲的、主体的に学習を進める力の育成に向けて、発達段階に配慮しながら指導方法を改善していきます。これからも学習の不安や疑問点がございましたら、貴重なご意見ですので、その都度お知らせいただきたいと思います。

- ・ 2年生にぴったりの劇だった。楽しそうに自信をもって表現できていて安心した。
- ・ 楽しく仲良しの2年生でいてほしい。
- ・ 難しい曲にチャレンジした学芸会。とても感動した。卒業まで3か月。「滝小で良かった」と思えるように、思い出を積み重ねて行ってほしい。

⇒ 学習発表会では、どの学年も最高の演技・演奏をめざして懸命取り組んでいました。一人一人の出番や見せ場、活躍の場に隔たりや落ち度はないか常に確認しながら、児童が「自信がついた」「できるようになって嬉しい」などと、自分の成長を自覚できるような発表会にしていきたいと思います。

- ・ 元氣よくあいさつできる子が増えたらいいなと思う。

⇒ 3年間マスクを着用した結果、コミュニケーションの発達に影響があると言われています。挨拶の他に、学習中の「相手に聞こえる声で話す力」「何を話しているのかはっきり聞きとる力」が弱まっています。次年度、「コミュニケーション」にかかわる指導について検討し充実させていきたいと思っています。

【教育環境・その他】

- ・ トイレを暖房便座にしてあげてほしい。

⇒ トイレについては、改修を要望しているところです。より清潔で、子どもたちが安心して使いやすいトイレになるように希望しているところです。

- ・ 給食のメニュー変更が嫌だと言っている。

・ 町内学校の突然の臨休や、天候、業者の事情等により食材の流通、搬入の遅れなど、様々な理由により、急遽メニューの変更をせざるを得ないことがあることを、子どもたちに理解させていきます。また、備蓄している非常食など、消費期限の関係で活用することもあります。これも防災・SDGs・食品ロスの観点から、食育の一環として指導していきますので、ご理解いただきたいと思います。